

三菱UFJフィナンシャル・グループが発行するサステナビリティボンドへの投資について ～新型コロナウイルス感染症対策を含む社会的支援への貢献～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、三菱UFJフィナンシャル・グループが発行するサステナビリティボンドに14百万ユーロ（約17億円）を投資しましたので、お知らせします。

本債券は、資金使途に新型コロナウイルス感染症対策に寄与する融資が含まれるサステナビリティボンドであり（注1）、調達資金の一部が新型コロナウイルス感染症拡大による経済的被害や感染症防止、治療の支援に充当される予定です。

当社は、「ESG投融資方針」（注2）に則り、資産運用業務においては、国連責任投資原則（PRI）への署名などを通じて、ESGの観点から投融資の意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なってまいります。

【本債券の概要】

発行体	三菱UFJフィナンシャル・グループ
社債の発行総額	500百万ユーロ（約600億円）
利率	年0.978%
資金使途 （ソーシャル分野のみ抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ①・震災、台風等の災害からの復興に寄与する融資 ・新型コロナウイルス感染症等の拡大による経済的被害からの回復に寄与する融資 ②・低所得者層にもアクセス可能である、国内外の公的病院、国内の社会医療法人および社会福祉法人が運営する国内病院への融資 ・新型コロナウイルス感染症等の拡大防止、治療等に寄与する国内外の医療施設および医療関連機器・製品製造会社への融資、ならびに症状緩和や拡大防止に向けた検査、研究開発に寄与する製薬会社向け融資 ③・低所得者層にもアクセス可能である、公立学校への融資 ④・イングランドの公共住宅当局に登録された公共住宅供給業者向けへの融資
払込期日	2020年6月9日
償還期限	2024年6月9日（4年）

（注1）本債券は、第三者認定機関である Sustainalytics 社よりセカンドパーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（ICMA: International Capital Market Association）が公表する「ソーシャルボンド原則 2018（SBP）」の基準を満たす発行に該当することを確認済み

（注2）2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」
https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf

以上